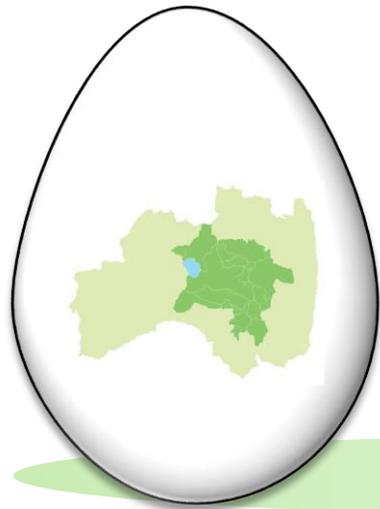


# こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2022 2班



来て。  
こおりやま広域圏

**Kite Koriyama Koikiken**

【鏡石町】松崎 雅充 (班長)

【天栄村】森内 祐貴 (副班長)

【郡山市】松尾 雄治

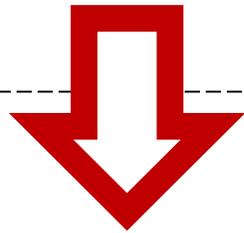
【須賀川市】吉田 健人

【田村市】佐藤 雄也

【石川町】西間木 穂乃花

# 私たちが連携する目的は

連携中枢都市圏は、  
相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市  
が近隣の市町村と連携して、人口減少・少子高  
齢化社会においても、**一定の圏域人口を有しつ  
つ**活力ある社会経済を維持するための、経済成  
長のけん引などの機能を備えた拠点を形成する  
ものである。



持続可能な圏域形成

## こおりやま広域 連携中枢都市圏ビジョン

「広め合う、高め合う、助け合う」  
～ 持続可能な圏域の創生 ～



こおりやま広域圏

2022年3月

郡山市

# 人口目標

# 長期的に圏域人口 50万人 維持

## 自然増減

出生数を増やす

死亡数を抑える

## 社会増減

転入者数を増やす

転出者数を抑える

福島民報 2022年9月13日 第46016号

### 県外流出止まらず 県内への移住促進が鍵

【福島の現在地】

「知事選告示まで1カ月」

県外流出止まらず 県内への移住促進が鍵

「ひと」人口減 社会減 全国46位

「自然減」の抑も難し

2022年度の県内の総人口は、厚生労働省の推計によると、前年比で約0.4%減り、6年連続で減少傾向にある。2018年度は約140万人をピークに、人口減少が加速している。県内では、人口減少が顕著な市町村は、約4割に達している。人口減少が顕著な市町村は、約4割に達している。人口減少が顕著な市町村は、約4割に達している。

「ひと」人口減 社会減 全国46位

「ひと」人口減 社会減 全国46位

「ひと」人口減 社会減 全国46位

市町村	人口	人口増減率
福島市	146,800	0.07%
郡山市	92,340	0.01%
いわき市	73,400	0.15%
水戸市	62,700	0.22%
会津若松市	141,100	0.36%
須賀川市	51,240	0.51%
南会津郡	14,010	0.53%
北会津郡	14,010	0.57%
会津町	17,220	0.58%
会津川口町	54,320	0.60%
会津高田町	18,200	0.61%
会津美里町	16,780	0.64%
会津坂本町	12,250	0.65%
会津白根市	12,250	0.66%
会津川口町	12,250	0.67%
会津高田町	12,250	0.69%
会津美里町	12,250	0.70%
会津坂本町	12,250	0.71%
会津白根市	12,250	0.72%
会津川口町	12,250	0.75%
会津高田町	12,250	0.76%
会津美里町	12,250	0.77%
会津坂本町	12,250	0.78%
会津白根市	12,250	0.79%
会津川口町	12,250	0.80%
会津高田町	12,250	0.81%
会津美里町	12,250	0.82%
会津坂本町	12,250	0.83%
会津白根市	12,250	0.84%
会津川口町	12,250	0.85%
会津高田町	12,250	0.86%
会津美里町	12,250	0.87%
会津坂本町	12,250	0.88%
会津白根市	12,250	0.89%
会津川口町	12,250	0.90%
会津高田町	12,250	0.91%
会津美里町	12,250	0.92%
会津坂本町	12,250	0.93%
会津白根市	12,250	0.94%
会津川口町	12,250	0.95%
会津高田町	12,250	0.96%
会津美里町	12,250	0.97%
会津坂本町	12,250	0.98%
会津白根市	12,250	0.99%
会津川口町	12,250	1.00%

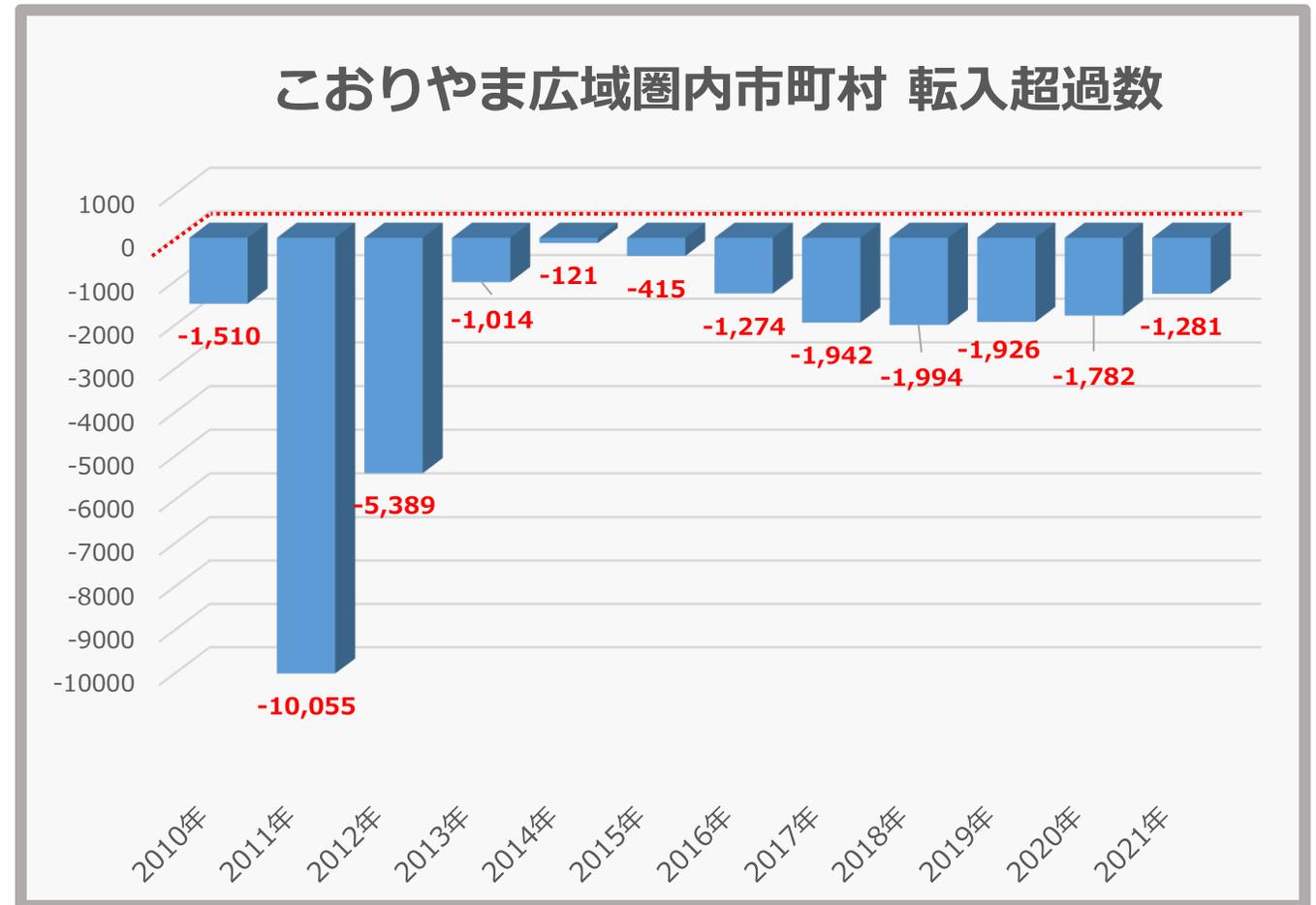
令和4年9月13日付 福島民報新聞

# 福島県の現状

	直近5年間の 転入超過数合計		直近10年間の 転入超過数合計	
青森県	-27,833 (41位)	男： -11,921 女： -15,912	-58,575 (41位)	男： -25,829 女： -32,746
岩手県	-20,769 (37位)	男： -7,943 女： -12,826	-36,777 (35位)	男： -13,811 女： -22,966
秋田県	-18,953 (35位)	男： -7,679 女： -11,274	-40,435 (38位)	男： -17,362 女： -23,073
宮城県	-6,092 (10位)	男： -3,472 女： -2,620	6,511 (8位)	男： 6,294 女： 217
山形県	-18,627 (33位)	男： -7,581 女： -11,046	-36,763 (34位)	男： -15,464 女： -21,299
<b>福島県</b>	<b>-35,110 (47位)</b>	<b>男： -15,971 女： -19,139</b>	<b>-64,598 (46位)</b>	<b>男： -23,612 女： -40,986</b>

# こおりやま広域圏の現状

- 2011年（東日本大震災）に1万人超の転出超過
  - 2021年は震災前と同水準の減少
  - 直近10年間、転入超過数がプラスに転じていない
- ➡ 継続した減少傾向



総務省統計局『住民基本台帳人口移動報告 2021年結果 結果の概要』  
表29「福島県の市町村別転入超過数の推移（日本人移動者）」から  
こおりやま広域圏の市町村の転入超過数を合計して作成

# 住む場所を変えるタイミングは？

進学

就職

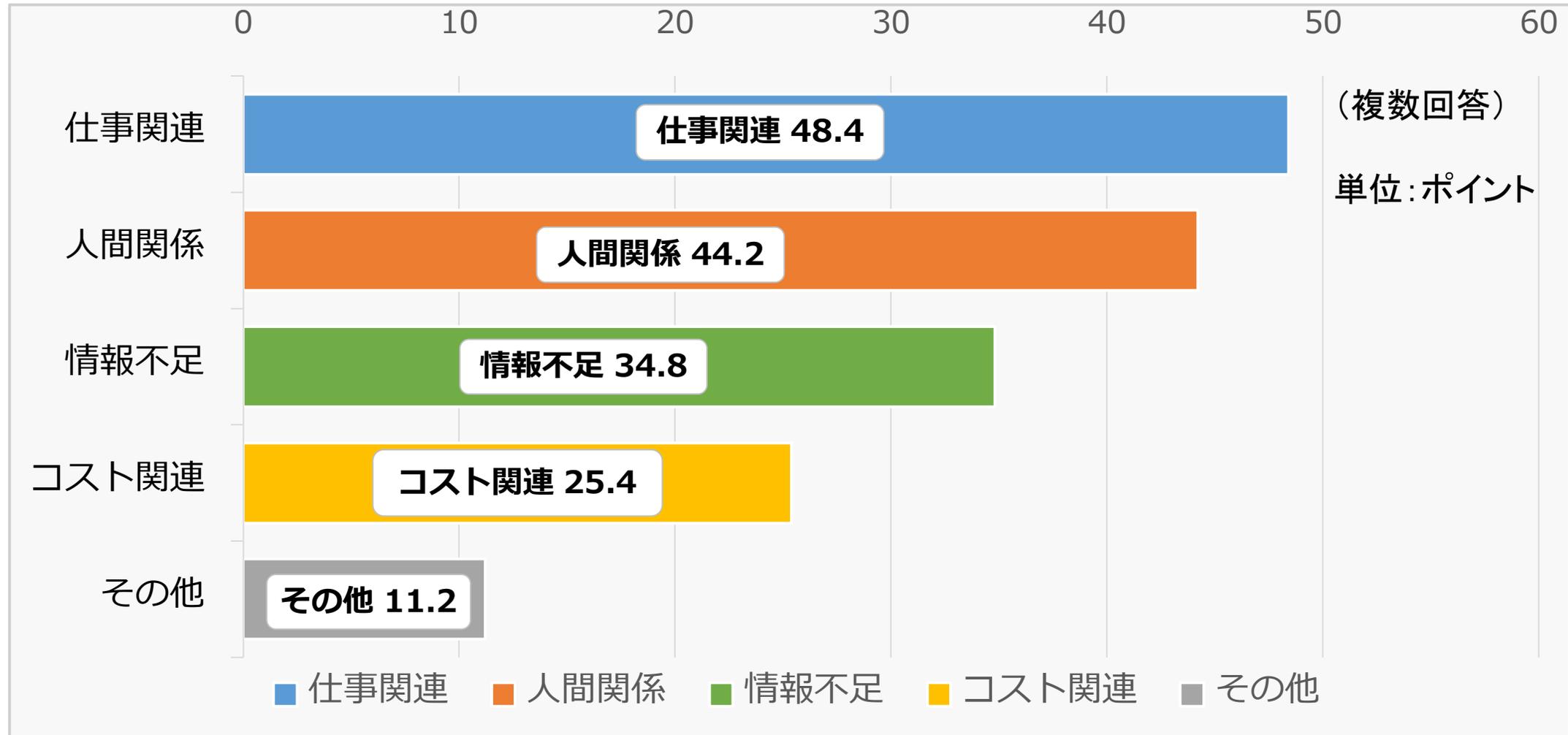
結婚

子育て

(保育園入園・小学校入学等)



# 地方への移住を妨げている要因は？



出典：「若者の移住」調査【結果レポート】2018年3月20日  
そっだ、地方で暮らそう！国民会議 配付資料 7

## 2班の提案

転入者を増やし、地域に活力を！

「コスト関連」➡ 提案A：居住支援

「仕事関係」➡ 提案B：就労支援

「情報不足」➡ 提案C：情報発信



# 提案 A 二段階移住のすすめ

移住者向け居住支援策による

こおりやま広域圏版 **「二段階移住」** の推進

居住支援策：滞在拠点の整備、家賃補助制度の創設

≪先進事例≫

『**こうち二段階移住**』・・・

高知県内34市町村で形成する「れんけいこうち広域都市圏」での  
取組み。

# 提案 A 二段階移住のすすめ

二段階移住とは・・・

いきなり希望の市町村に移住する前に

## Step 1

**広域圏内の都市部で  
まずお試し移住**

移住前の環境に近い環境で生活しながら、周辺市町村の情報収集や現地訪問を行う。

## Step 2

**気に入った市町村に移住**

時間をかけて調査した候補先のうちから、「ここだ！」という相性の良さそうな市町村に移住する。

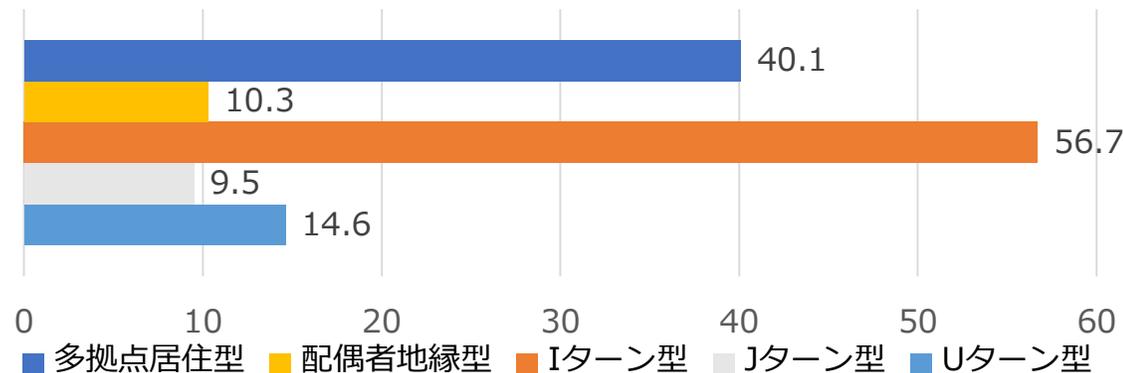
# 提案 A 二段階移住のすすめ

## 背景①

### 移住意向者の傾向

移住意向者のうち、  
過半数がIターン型の移住を検討。  
→移住先とのミスマッチの恐れ

移住意向者の検討している移住タイプ (複数回答)



出典：パーソル総合研究所「地方移住に関する実態調査 (Phase1)」

## 背景②

### 移住のために必要なサポート

移住を具体的に計画している方のうち、  
3割近くが移住先の役所での「対面での  
相談」を要望<sup>※1</sup>している。

※1 出典：ふるさと回帰支援センター「地方移住に関する調査結果」

# 提案 A 二段階移住のすすめ

## 二段階移住のメリット

- ① 地域に住む具体的なイメージを掴むことができる
  - 地域のイベントを通して、住民との交流
  - 実際に生活する上での利便性の把握
- ② 腰を据えて、移住先をじっくり考えることができる

移住先での生活に対する不安  
移住のミスマッチ } 軽減

# 提案 A 二段階移住のすすめ

## 都市部からの段階的な移住



# 提案 A 二段階移住のすすめ

**Step 1** 首都圏 ⇒ こおりやま広域圏内の都市部

郡山市への移住促進

「二段階移住における郡山市」への移住を促進するために

滞在拠点の  
整備

家賃補助制度  
の創設

# 提案 A 二段階移住のすすめ

まずは移住先を探している方を積極的に誘致！

二段階移住における郡山市への移住を促進するために・・・

## ① 滞在拠点の整備

- ◆ 一定期間、廉価で住むことができる滞在拠点を整備！
- ◆ 名付けて “郡域住宅”

《先進事例》

高知市：こうちらいふ体験滞在拠点「いっく」

長野市：七瀬住宅

## ② 家賃補助制度の創設

- ◆ 二段階移住を目的にアパート等を借りた方に月額家賃を支援！

《先進事例》

高知市：二段階移住支援事業費補助金

長野市：家賃支援事業補助金

こおりやま広域圏ライフを体験する生活の拠点到！！

# 提案 A 二段階移住のすすめ

## 都市部からの段階的な移住



# 提案 A 二段階移住のすすめ

Step 2 こおりやま広域圏内の都市部 ⇒ 自分に合った地域

郡山市に住んでいる間に  
『自分に合った地域』  
を探してもらおう！



# 提案 A 二段階移住のすすめ

**Step 2** こおりやま広域圏内の都市部 ⇒ 自分に合った地域

**移住先を探す方法はいろいろありますよ！**



各市町村の  
移住担当者

こおりやま  
移住・定住  
ポータルサイト

こおりやま広域圏  
主催の  
地域体験ツアー

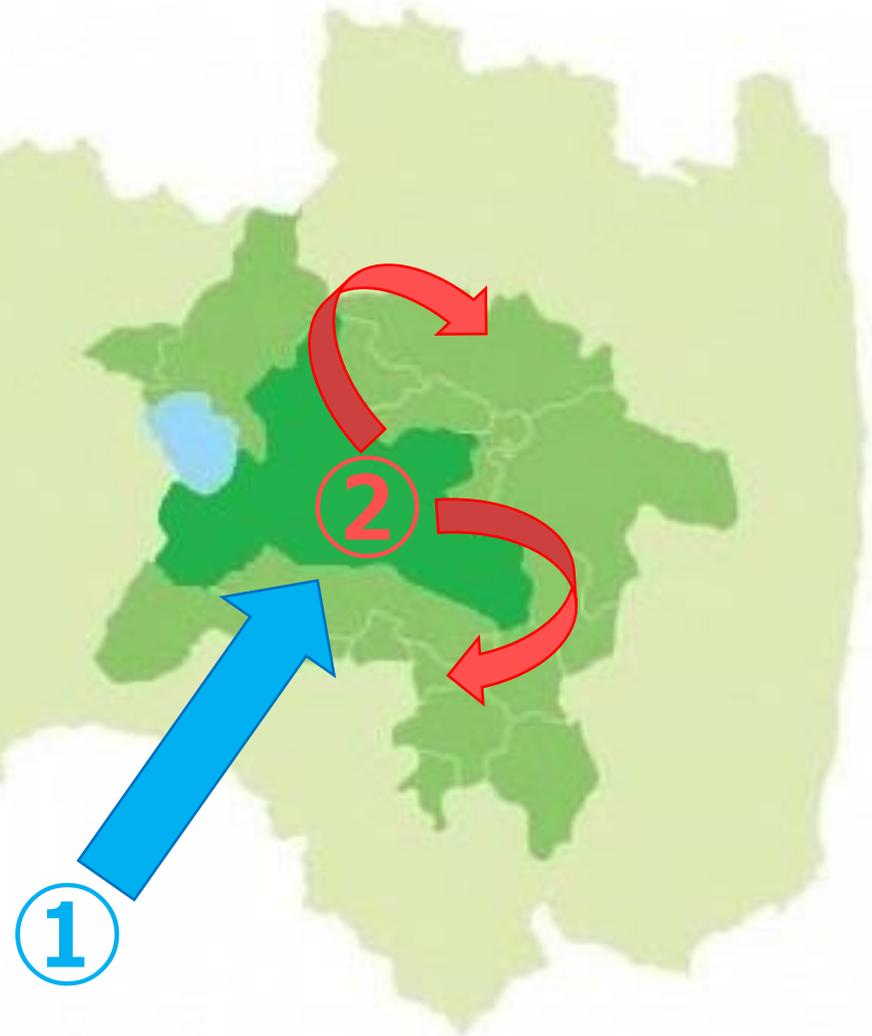
福島に住みながら移住先をじっくり考えられます！

# 提案 A 二段階移住のすすめ

① 都会から  
まずは郡山市へ

② こおりやま広域圏内をめぐり  
自分に合った地域へ

移住先での  
生活の不安・ミスマッチを軽減



# 提案B ワーホリこおりやま

## ① ワーキングホリデー in こおりやま広域圏 インターンシップ+移住（就労支援 × 居住支援）

- 数か月程度のインターンシップ（就労体験）。
- 期間中の家賃補助（提案A）や公営住宅利用。

《先進事例》長野市「ワーホリ@ながの」

《国 施策》「ふるさとワーキングホリデー」  
（総務省）



定着性

移住・定住

ワーホリこおりやま  
(就労体験 × 移住体験)

地域おこし協力隊

お試しサテライトオフィス

テレワーク

地域活性化企業人

滞在型

ふるさとワーキングホリデー

観光・旅行

地域交流  
・体験型

地域とのつながり・関わり

# 提案B

## ② 就労情報発信機会の極大化

- ・ 地元の魅力ある企業の情報を発信し、移住へつなげる！

各自治体があらゆる機会を捉えてアプローチ

- ・ 自治体が参加する採用イベント
- ・ 成人式、30歳の集いなど



# 提案C 情報発信の充実

## ①こおりやま広域圏の移住・定住情報の発信強化

- ・年齢層に合わせたSNSの活用

Instagram

facebook

Twitter

Tik Tok

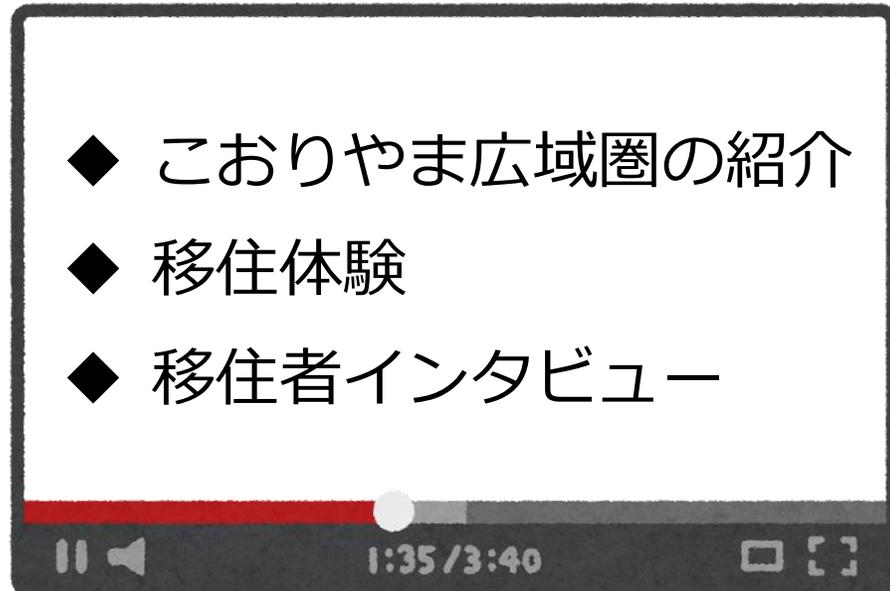
【参考：視察先】ふるさと支援回帰センター、ぐるっとながの移住定住情報Instagram

# 提案C 情報発信の充実

## ①こおりやま広域圏の移住・定住情報の発信強化

・インフルエンサーとのコラボ

× YouTuber   × VTuber



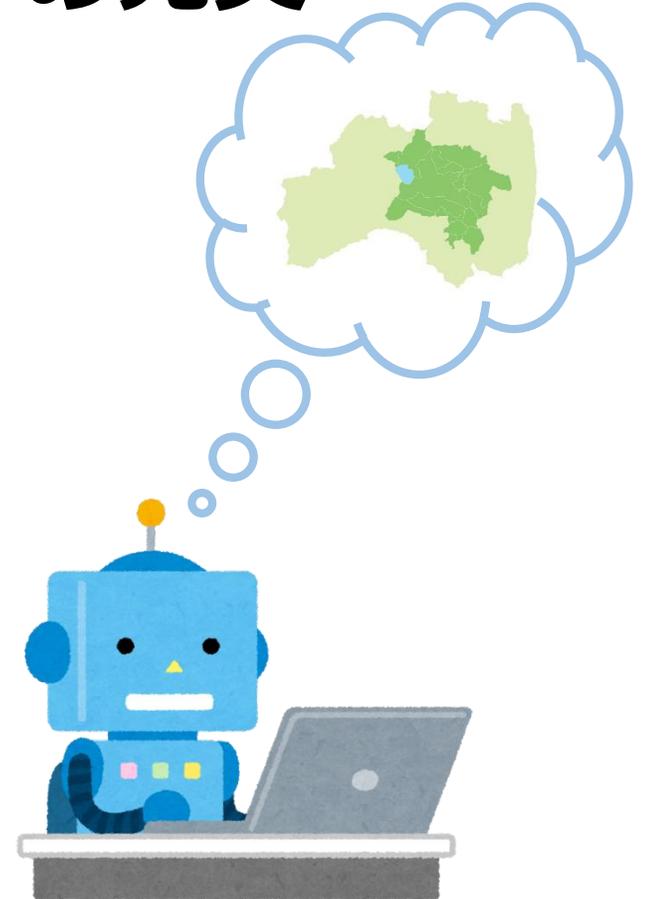
# 提案C 情報発信の充実

## ②こおりやま移住・定住ポータルサイトの充実

- ・ 移住先関連情報の掲載
- ・ 自治体写真のスライドショー
- ・ あなたにぴったり自治体診断

こおりやま広域圏の  
移住・定住情報の**プラットフォーム**に！

【先進事例】長野県 田舎暮らし楽園信州

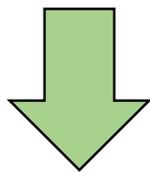


# 提案C 情報発信の充実

## ③ふるさと納税の活用

令和3年度実績 利用人数 約740万人 寄附総額 約8300億円

こおりやま広域圏の  
共通返礼品を作成



こおりやま広域圏  
認知度UP

総務省 自治税務局市町村税課  
「ふるさと納税に関する現況調査結果（令和4年度実施）」より作成



# コスト

- 滞在拠点の整備
- 家賃補助制度の創設

# 仕事

- インターンシップ×居住支援
- 広域圏内の企業情報・就労情報の発信

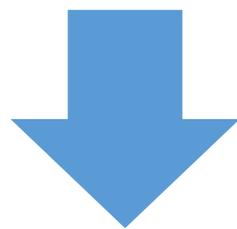
# 情報

- SNSの活用
- 移住定住ポータルサイトの拡充
- [ふるさと納税] 共通返礼品の作成

# まとめ

地方への移住を妨げている要因  
【コスト・仕事・情報】

**払拭！！**



**転入者の増加**

広域圏内の人口推移





ようこそ、こおりやま広域圏へ。

# ご清聴ありがとうございました



長野市役所 企画課 様

認定NPO法人

ふるさと回帰支援センター 様

視察にご協力いただき、

誠にありがとうございました

